

# 刈谷市 歴史 博物館 NEWS

Vol. 13  
2023.07

Kariya city Museum of History NEWS

## CONTENTS

Next Exhibition [次回展示] -----	1
Description [解説] -----	2
Report [報告] -----	3
Information [ご案内] -----	4

## NEXT EXHIBITION 次回展示

### 企画展「井ヶ谷古窯展—いにしへの刈谷のものづくり—」

開催日 2023年7月22日(土)～9月10日(日)



▲石根第5号窯 (IG-78) 出土資料 愛知県陶磁美術館蔵

井ヶ谷古窯は最盛期に大量の須恵器、灰釉陶器を焼いており優品もたくさん出土していますが、今まであまり紹介されたことがありません。今まで展示されたことのない資料、今回の展示に合わせて整理作業を行った新たな資料の展示を行います。

また、令和3年度に井ヶ谷古窯跡群の分布調査、令和4年度に愛知教育大学構内にある松根第3号窯の確認調査を行い、新たな資料も増えたため、最新の資料も紹介します。

井ヶ谷古窯跡群は、猿投山西南麓古窯跡群（猿投窯）の最南端で、刈谷市の北部、豊田市の南西部には古代から中世にかけての古窯が76基存在します。井ヶ谷町の洲原池・大池・広沢池・牛池の周辺に分布し、碧海台地より古く、一段高い挙母台地に広がっています。井ヶ谷窯の最も古い時期の窯は8世紀後半で、9世紀前半頃に最盛期を迎え、9世紀後半から11世紀にかけて衰退していき、13世紀末に終焉を迎えます。

井ヶ谷窯は最盛期に大量の須恵器、灰釉陶器を

※記載内容は予告なく変更することがあります。

## 「最近の古窯に関する調査」

井ヶ谷古窯展では最近の調査成果を展示します。本稿では調査の概要を紹介します。

### [分布調査]

井ヶ谷古窯跡群の位置する井ヶ谷町、東境町は確認された当時に比べて周辺の市街地化が進んだことで地形や景観が変わり、その所在が分からなくなっているものも少なくありません。将来的に大規模な開発が行われることに備え、現状における既知の窯跡の所在及び残存状況の確認と、未知の窯跡の発見のため、令和3年11月～令和4年2月に昭和54年以来の現地踏査による窯跡



▲ 分布調査の様子

の詳細分布調査を実施しました。

分布調査は北部地区を6ブロックに分け、市職員（埋蔵文化財担当学芸員）2名と作業員4名が2班に分かれて窯跡周辺を踏査しました。

分布調査の結果、多くの窯が滅失・埋没していることがわかりました。昭和の調査で窯体を確認されている場所でも、窯体はほとんど確認できませんでした。洲原第10号窯では、昭和の調査で図面に杭の場所、窯体も記載されていましたが、杭もなくなっており、窯体も全くわかりませんでした。

遺物に関しては、西石根第1号窯から第6号窯では多くの山茶碗、石根古窯では須恵器を採集することができました。愛知教育大学構内でも、洲原第8号窯、洲原第1号窯から第3号窯で須恵器を採集することができました。他にも松ヶ崎第2号窯の南側では中世土師器を採集し、新規遺跡を



▲ 松ヶ崎第2号窯

発見するなどの成果を得ました。

### [確認調査]

令和4年8月29日～9月6日に愛知教育大学構内にある松根第3号窯の調査を行い、窯体は焼成室から煙道部までの約7m残存していることが確認できました。尾張型山茶碗第5型式の窯は全長約11～12mであり、3分の2程が残存していることとなります。松根第3号窯は現在フェンスに囲われており、焼成室の部分が崖面に露出していることが確認でき、埋土の除去を行ったところ、少なくとも2回操業し、炭焼き窯に転用していることがわかりました。その後、天井崩落により廃絶したと考えられます。



▲ 焼成室



▲ 煙道部

松根第4号窯については、『増補井ヶ谷古窯址群』（愛知教育大学1989）をもとに松根第3号窯のフェンスの約7m北側から崖面を精査し、約5m付近にトレンチを2ヶ所掘削しましたが、窯は確認できませんでした。3号窯の横に自然地形の窪みがあり、それを当時の調査員が窯と勘違いした可能性があります。

周辺の地層をみると、松根第3号窯の周辺のみ薄茶色の砂層が堆積しており、挙母層の礫を多く含む部分に比べて窯を作りやすい地層であったことがわかりました。（当館学芸員 河野あすか）



▲ 出土した山茶碗



## REPORT 報告

## 愛知教育大学附属高等学校 「おかしな偉人伝」

2023年3月23日(木)～4月6日(木)

刈谷市井ヶ谷町にある同校では3年生の歴史学習の一環として、国内外の偉人を取り上げるポスター展示を企画しました。ただ偉人の業績を取り上げるだけでなく、数々の「おかしな」点を示すことで、見る人にも親しみをもってもらえるよう工夫しました。学習の成果は同校の文化祭で発表されましたが、選抜された10組の偉人ポスターが、歴史博物館で展示されました。各グループとも、偉人について詳しく調べられているのは勿論のことですが、「おかしな」点に関しては高校生の感性を窺い知ることができて、大変興味深く見ることができました。



▲ポスター展示の様子

(当館学芸員 長澤慎二)

## 刈谷東高等学校折り紙部 「ORIGAMI 展」

2023年3月18日(土)～4月2日(日)



▲展示の様子



▲イベントの様子

博学連携事業として愛知県立刈谷東高等学校折り紙部が制作した折り紙作品を展示する「ORIGAMI」展を開催しました。数万個の折り紙を貼りつけた大きな浮世絵や立体的な平等院鳳凰堂など時間をかけ、様々な折り方を駆使して仕上げた作品の出来栄が素晴らしく、見ごたえのある作品に仕上がっていました。亀城公園の桜まつりの時期とも重なり、海外からのお客様も鑑賞されていて、作品に使われた折り紙の多さや出来上がりの質の高さに感嘆の声をあげられていました。関連イベントでは、折り紙部の先生や卒業生、生徒さんが参加者にドラゴンの作り方を指導しました。難しいドラゴンに四苦八苦する参加者にも丁寧にかけるみなさんの姿がとても素敵でした。

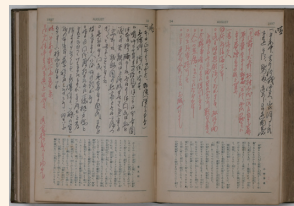
(当館指導主事 河村智美)

INFORMATION ご案内

歴博ゼミナール

「アジア太平洋戦争期の刈谷―石川文中の日記を手がかりに―」

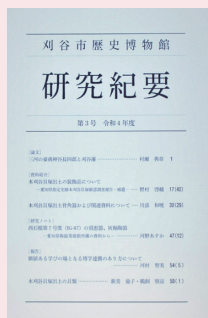
日時 8月11日(金・祝) 14時～15時30分  
 講師 広中一成氏(愛知学院大学准教授)、長谷川怜氏(皇學館大学准教授)  
 内容 ある刈谷市民によって書かれた昭和12年～20年[1937-45]頃の日記から、戦時中の世相や刈谷の町の様子を読み解きます。また、講師と一緒に実際に日記を読みましょう。  
 定員 70人(事前申込制) 対象 高校生以上  
 ※申込多数の場合は抽選とし、結果は全員に連絡します。  
 空席がある場合は当日先着順。



申込 7月17日(月・祝)までに、申込用紙(歴史博物館で配布・市HPでダウンロード可)を郵送、または直接、歴史博物館へ。あいち電子申請・届出システムでも申し込み可。

新規刊行物 発売中

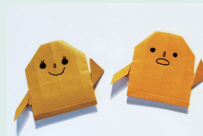
刈谷の歴史にかかわる調査研究などをまとめた「研究紀要第3号」(定価:500円)、刈谷市北部に位置する井ヶ谷古窯跡群の分布調査報告書「井ヶ谷古窯跡群分布調査報告書」(定価:1,000円)を発行しました。



販売場所: 当館受付

簡単工作(7月～9月)

- ・オリジナルうちわ 200円
- ・折り紙「はにわ」 無料
- ・季節メニュー「風鈴」 500円(7月8日～8月20日期間限定)



土日祝日開催  
 受付16時30分まで



◎ポイントカード実施中◎  
 簡単工作に参加し、ポイントを集めてグッズと交換しよう!

カレンダー

7	日	月	火	水	木	金	土	8	日	月	火	水	木	金	土	
							1				1	2	3	4	5	
2	3	4	5	6	7	8		6	7	8	9	10	11	12		
9	10	11	12	13	14	15		13	14	15	16	17	18	19		
16	17	18	19	20	21	22		20	21	22	23	24	25	26		
23	24	25	26	27	28	29		27	28	29	30	31				
30	31															
9	日	月	火	水	木	金	土	10	日	月	火	水	木	金	土	
						1	2			1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14		
10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21		
17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28		
24	25	26	27	28	29	30		29	30	31						

- 井ヶ谷古窯展 一いにしへの刈谷のものづくりー
- 姫たちの想い～家康を支えた水野家の女性たち～
- 休館日

利用案内

開館時間: 午前9時～午後5時  
 観覧料: 歴史ひろば・お祭りひろば…無料  
 企画展示室…企画展ごとに異なります

交通案内

- 鉄道** JR 東海道本線 逢妻駅 から徒歩約15分  
 名鉄三河線 刈谷市駅
- バス** 刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」  
 東刈谷線・逢妻線  
 「刈谷市体育館」下車 徒歩約3分
- 車** 伊勢湾岸自動車道  
 名古屋南IC、刈谷スマートIC または 豊田南IC から約20分

※ 記載内容等は変更することがあります。詳細・最新情報は当館ホームページ、または Twitter をご確認ください。

編集・発行

刈谷市歴史博物館  
 KARIYA city Museum of History  
 〒448-0838 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1  
 TEL.0566-63-6100 FAX.0566-63-6108  
 URL: https://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/



◀ 当館ホームページ  
 企画展・イベントの詳細や、博物館NEWSのバックナンバーを掲載しています。



◀ 公式 Twitter  
 最新の情報やイベントの告知など、時々つぶやいています。

※ QR コードはデンソーウェーブの登録商標です。